

年度	2026年度
試験日	2026年2月19日(木)
学部	教育学部
入試制度	一般選抜(B方式・C方式)
試験科目	数学

### 出題意図及び解答例(解答のポイント)

#### 【注意事項】

※公開する解答例には、別解がある場合があります。

※お問い合わせいただいた内容は本学で確認し、必要がある場合には、入学センターWebサイトに掲載いたします。個別に回答することはいたしません。

※お問い合わせ先：早稲田大学入学センター nyusi@list.waseda.jp

#### ■出題意図

早稲田大学教育学部の一般選抜では、①教科に関する確かな基礎学力と②「教える・伝える力」の基盤となる高い論理的思考能力と言語運用能力に関する能力を評価・判定します。

数学の出題範囲は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(「数学と社会生活」を除く)、数学C(「数学的な表現の工夫」を除く)です。なお、B方式とC方式の数学は同一の問題とします。

早稲田大学教育学部の理系の数学の今年度の入試においては、①、②に加え、数理的な能力を見るために、数学の基礎から発展的な内容まで、広い範囲から問題を出題し、計算力、論証力、正解まで到達する推論の力、複数項目の融合的な問題を解く力などを総合的に評価することを意図しました。

#### ■解答例(解答のポイント)

一義的な解答が導きだせないため、解答のポイントをご確認ください。

##### <解答のポイント>

自然科学においては様々な現象が数学の言葉を用いて表現され、研究されてきました。現代では、社会科学や人文科学においても数学的な思考法は必須のものとなってきています。高等学校の学習指導要領では次の資質・能力の育成が目標とされています。

- ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能。
- ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力。
- ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎。

早稲田大学教育学部の数学の今年度の入試においては、以上の目標がどれほど達成されているかを評価すべく、高等学校で履修する分野から以下のように問題を出題しました。特に、2から4は完全記述式として、論理的構成力や表現力を求めています。

1：確率と整数、不等式、分数関数、合成関数と最小値

2：多項式と整数

3：平面および空間ベクトル

4：図形の面積、積分、極限